

# 第4回 飯山市基本構想審議会 顛末（要旨）

日時 平成29年12月22日（金）午後4時  
場所 飯山市役所 4階 全員協議会室

## 1 開 会

事務局 企画財政課

委員 出席者17名 欠席者6名

## 2 会長あいさつ

会長

年末のお忙しい中ご出席いただきありがとうございます。

本審議会は、今回で第4回目ということで、審議内容についてはまとめとしていきたい。

いろいろとご意見を出していただき、答申に向けてよろしくご審議をお願いしたい。

## 3 審議事項

飯山市後期基本計画策定に向けて

### 1) アンケート結果について

事務局より追加実施のアンケートについて説明

若者向けアンケートと高校生向けのアンケートを追加で実施。

8月にまちづくり市民アンケート実施したが、そのアンケートでは、20代、30代の方の回答が少なかったということと、また、この世代の方がどのように考えているかをさらにお聞きしたい。ということから追加で若者向けアンケートを実施した。

また、高校生向けについては、さらに、次の世代ということで飯山高校、農林高校の2校の高校生についてアンケートを実施した。

アンケート結果について、資料より説明

## 2) 後期基本計画（案）について

事務局から後期基本計画（案）について資料説明

会長 今回の審議会で全体的なまとめとなる予定である。特に重点について、1項目ずつ説明を受け皆さんのご意見をお聞きしたい。

事務局 まず、重点プロジェクトについては、表現として、目標とする項目・内容であるため、前回までの重点プロジェクトという表現から、重点目標という表現に変更しています。

さらに4つのそれぞれのいいやまづくりの重点目標のなかに、重点的・優先的に取り組む内容を重点項目、そして戦略プロジェクトとして位置付け、内容を盛り込み取り組む。という表現に変更しています。

いいやまづくりの各重点項目について

### 1. 仕事と子育てのまるごと応援で若者が住みたくなるまちづくり

資料より事務局説明

会長 若者向けの住宅については、どのような場所で建設していく考えなのか。

事務局 住宅団地で空いている場所、また、市有地等に予定している。

委員 若者向けの住宅は、安価に入居できるように設定するのか。

事務局 現在の若者住宅と同程度で検討したい。

会長 住みやすく、安い住宅をぜひお願いしたい。

委員 住むところとセットで、若者向けの雇用の確保が大事であるので、企業誘致についても、さらにお願ひしたい。

委員 高校生と市長が語る会では、学習する場所や学習環境等に対する意見があった。また、語る会では、移住してきた高校1年生が参加していた。こういった外からの移住してきた方など、様々な方が参加して意見交換をすることで、さらにいろいろなアイデアが出てくると思う。

会長 他にないですか。それでは、この第1項目についてはよろしいですか。

承認。

ありがとうございます。それでは、次お願いします。

### 2. 防災体制と医療介護体制の充実も親も子どもも安心してきるまちづくり

資料より事務局説明

委員 特別養護老人ホームについてはどうようになるのか。

事務局 北信広域連合が検討している特別養護老人ホーム等については、建設について決定事項ではない。  
飯山市が建設を提供することで、飯山市へ建設することを推進していきたい。  
ということである。

会長 他にないですか。それでは、この2つめの項目についてよろしいですか。

承認。

ありがとうございます。それでは次お願いします。

### 3. 自然環境と高速交通網を活用した産業を育成するまちづくり

資料より事務局説明

会長 飯山駅前の宿泊施設や、賑わい等についてみなさん関心があると思うが、現状はどうか。

事務局 実際に宿泊施設建設を検討している事業者は、飯山の寺町というものを活かした内容で考えている。市としても駅前、また、まちなか観光や誘客に向けて誘致を推進していきたい。

委員 道の駅花の駅千曲川の拡張整備による回遊型観光の振興プロジェクトについては、どうなのか。

事務局 道の駅については、現状の部分の北側に拡張整備を行うことにより、観光・交流客を市街地から回遊させること等をさらに内容追記していきたい。

会長 さらに、提案という部分でご意見いただきたい。

委員 無人バスというニュースがやっていた。このような雪国で、無人バスを道の駅への周遊で使えば面白いと思う。このような開発・研究がされればと思います。

委員 仕事と子育てのまるごと応援で若者が住みたくなるまちづくりという目標の達成には、やはり、仕事、働くところがなければ、若者が住みたくなるまちづくりにはならないと思う。  
このプロジェクトをしっかりと進めてほしいと考えます。

会長 飯山のこの雪というものを活かす、雪の利活用を市民と共に考えていただきたい。  
また、自然エネルギーの利用についてもさらに推進していただきたい。

委員 飯山駅を利用する外国人の方は沢山いる。この方たちを飯山市に留まってい

ただくことが大事である。

委員 新幹線等による時間的な短縮、これによる職・住の接近は、飯山を活性化させる好材料だと思う。このような通勤支援策を検討することは良いと思う。

会長 他にないですか。それでは、この3つめの項目についてよろしいですか。

承認。

ありがとうございます。それでは次お願いします。

#### 4. ICT 教育と国際交流を通じて生きていく力と郷土愛を育成するまちづくり

##### 事務局より資料説明

委員 他に比べて、この4. ICT 教育と国際交流を通じて生きていく力と郷土愛を育成するまちづくりについては、戦略プロジェクトのボリュームが少ないと思います。郷土愛、ふるさと教育等について追加してはどうか。

会長 事務局と検討し、重点項目から戦略プロジェクトを追加していきたい。

委員 学校の適正規模の検討とあるのですが、適正規模の基準はあるのですか。

委員 何人でなければならないということはないが、1クラスの人数の上限はある。また、複式学級となるときにも基準があります。1クラスの人数がある人数よりも少ない場合は、複式学級になるなど基準等の決まりはあります。

委員 現在、小・中学校の適正規模についての検討が検討委員会で協議中である。少子化になってきているが、少ない集団の中での切磋琢磨よりも、できるだけ大勢の中での切磋琢磨が大切だと思う。そういったことで適正規模の検討をしているということである。

委員 意見として、冬ではなく夏のことになりますが、暑い時に、どこにも日陰がないように思う。夏、観光で来てちょっと暑さをしのげるところ、建物があると良いと思う。

委員 防災関係のことですが、以前は、ツイッターで防災情報の発信をしていたと思います。また、再度、このようなことを検討していただきたい。

会長 今回いただいたご意見等により、内容が修正される部分があると思いますが、正副会長と事務局で修正し、答申という形にしていきたい。それでは4つめの項目を含めて、全体よろしいでしょうか。

委員 異議なし。

会長 審議会委員の皆さん、長い時間、真摯にご協議いただき誠にありがとうございました。

3) 今後のスケジュールについて

事務局

今回の審議会等でご意見いただいたもので内容を修正し、飯山市議会への説明、パブリックコメントの募集を行い、来年1月末から2月上旬で、審議会から市長への答申を予定しています。(答申は正副会長が出席。)

4) その他

なし

4 閉 会

17:55終了。